

## 映画の小箱

濡れ衣を着せられた敏腕人質交渉人が、自らの交渉にもう一人のプロを逆指名。息をのむ頭脳戦。観客も人質のように引き込まれる。

金丸弘美=文  
text by Hiromi Kanamaru

『交渉人』

## 逃げ場も味方も失った男の命とプライドを賭けた大博打

息詰まるサスペンスとは、このことか。逃げ場はなく、周囲の同僚も仲間も、誰も信用できない。まさに窮地のどん底。そこからどうやって抜け出すのか。主人公は目まぐるしく変化していく周囲の状況を冷徹にみながら、真つ向から敵に立ち向かい、不利な条件を一つ一つ確実にねのける。一つの言葉、一つの動作も無駄にはできない。その駆け引きの、なんとスリリングで緊張に満ちていることか。

交渉人（ネゴシエーター）とは、人質を盾に立てこもった犯人を説得するプロのことを指す。いかにも犯罪の多発するアメリカならではの仕事といえそう。

人質のからだ、一歩間違えば惨事になりかねない事件で、まずは交渉人が先頭に立ち、犯人と駆け引きをするのである。状況と犯人の心理をどう読んでいくか、どれだけかの決断力と勇気があるかが試される職業だ。

主人公ダニー・ローマン（サミュエル・L・ジャクソン）は、シカゴ警察の東地区で、もっとも優秀な人質交渉人だ。

冒頭、いきなり交渉の現場から始まる。自分の娘に拳銃を突きつけ、部屋に籠城した元海兵隊員の説得に突入する。ドア越しに説得を続け、その間、相手の位置や心理状態を逐一、待機する警察に連絡するのだ。向かいの建物では、狙撃兵や特殊なカメラ、盗聴装置などを駆使し、犯罪者の動向を徹底的に追いつながら、専門家たちが交渉人の合図を待つ。お互いの連携プレーで、ここぞというときに突撃をかけ、人質を救出するのである。

そして、無事、事件解決と思いきや、ここから状況は百八十度転換し、もっとも劇的なドラマが始まるのだ。

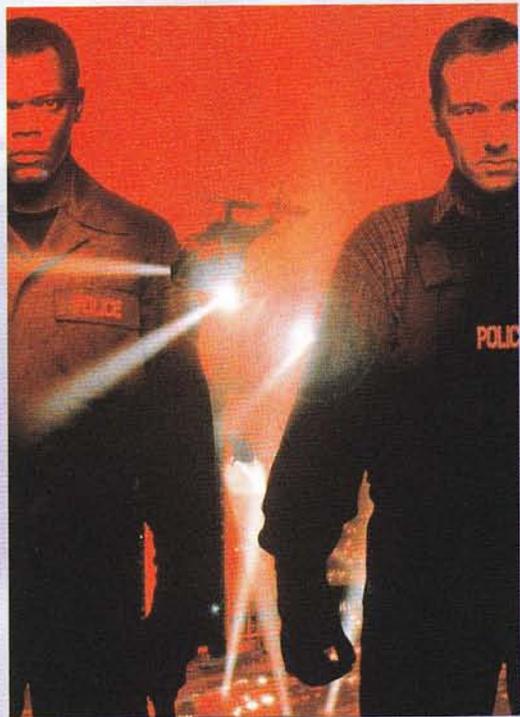
人質事件が一段落した後、ローマンは、警察の相棒ネイサンから、二百万ドルにもおよぶ警察の年金を横領した者がいるという情報

を聞く。そして警察内部の調査をする捜査官ニーバム（J・T・ウォルシュ）も、犯罪にからんでいるのでは、という話を耳にした。

ローマンは年金の委員もしていて、横領事件に関心を示す。ところが、ある夜、ローマンはネイサンから、年金の事件で話したいことがあると呼び出しをうけて指定の場所へ赴いてみると、ネイサンは車の中で射殺されていた。そして年金委員のローマンに嫌疑がかかる。死体の場所にはローマンしかいなかったため状況的には不利、さらに自宅捜査をされ、年金と同額がスイスの銀行にあるという書類も発見される。

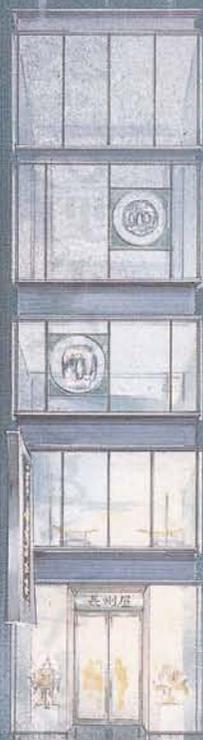
誰かに畏にはめられた。警官の職務は剝奪され、監獄行きしかない。そう悟ったローマンは、間隙をぬって逃げ出し、いきなりニーバムのオフィスに押しかけると、彼とそのスタッフを人質にしてしまうのだ。

つい今まで人質を盾にする犯人を追及する立場にあった者が急転、人質をとる犯罪者の立場になった。立てこもったオフィスビルはたちまち警察に包囲される。さて、これから



# 日本刀名品専門店

日本刀  
銀座長州屋



鎌倉・南北朝時代から室町戦国時代、さらに江戸時代後期幕末までの刀剣・刀装具等武家美術を常設展示販売。また、刀剣に関するすべてのご相談に応じております。

刀剣研究販売情報誌 月刊『銀座情報』発行見本誌無料贈呈 お申し込みは下記LG係迄

—在庫品の一例—

刀 吉用(福岡一文字)鎌倉時代 重要刀剣  
 刀 備前国住長船孫右衛門尉清光 永禄三年八月吉日 重要刀剣  
 刀 肥前国河内守正廣 龍彫刻入 江戸時代 太刀拵付 重要刀剣  
 刀 信濃守藤原國廣 江戸時代 重要刀剣  
 刀 井上真改 延宝八年二月日 重要刀剣  
 短刀 米国俊 鎌倉時代 重要刀剣  
 短刀 越前国康継 初代 葵紋金具拵入 江戸時代 重要刀剣  
 刀装具 埋忠明寿・信家・夏雄・一乗・安親

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-4

TEL.03-3541-8371(代)

フリーダイヤル ☎

0120-123622

株式会社 銀座長州屋



どう展開していくのか。この滑り出しの急転直下ぶりに、ぐいと引き込まれる。  
 当然のことながらローマンはプロ中のプロ。外部からのファイバーによるカメラの侵入を防ぐために通気孔やドアの隙間をふさぎ、狙撃を避けるために窓にブラインドを降ろしてしまふ。ニーバムを脅し責めたて真犯人を追及する一方、外で待機する警察に対して年金

横領の犯人を捜し出せと要求。犯人を見つけ出さなければ、人質を一人ずつ殺害すると通告する。そして、自分の仕事仲間と裏切り者がいると確信したローマンは、待機する警察の交渉には耳を貸さず、面識のない西地区の交渉人クリス・セイビアン(ケビン・スペイシー)を逆指名してしまふ。  
 同僚では信用できない。ならば、これまで接触がなく、優秀な人間で同じ立場の交渉人が登場すれば、あるいは、客観的な判断に立ち、自分の本当の真意を読み取ってくれるのではないか。ローマンは大博打を打つのだ。  
 こうして交渉人対交渉人の心理の駆け引き、さらにローマンが籠城する部屋に押し入ろうとする特殊部隊、警察、さらにはFBIも加わって、丁々発止の駆け引きが行われる。  
 たった一人、追い詰められた主人公。それを囲む大部隊。いつ弾けてもおかしくない状況。そこに登場した交渉人が、主人公との交渉で、大心理合戦を繰り広げる。この見事な緊張関係のバランスと展開、次々と訪れる意外なできごと。緊密で、詰まりに詰まった濃厚な舞台劇を観るかのようだ。

## 『交渉人』 THE NEGOTIATOR

(1998年 アメリカ映画 ワーナー・ブラザーズ配給)

監督=F・ゲイリー・グレイ

出演=サミュエル・L・ジャクソン/ケビン・スペイシー/デイビッド・モース/ロン・リフキン/ジョン・スペンサー/J・T・ウォルシュ/シボーン・ファアロン